

平成30年度 第4回学校協議会 議事録

平成31年2月4日（月）実施

➤ 協議会委員の出席者

中井正昭委員、伊波豊委員、吉本ますみ委員 山岡鉄男委員 濱口恵子委員

➤ 教職員の出席者

北橋校長 清家教頭

➤ 平成30年度 学校関係者評価

中期目標1における評価：B

【委員からの意見・提言】

- ・安心で規律ある学校づくりができつつある。「学校に行くのが楽しい」が増加。不登校の減少に現れている。
- ・目標達成まではいかなくても、教職員の努力の成果であると思う。さらに「学校に行くのが楽しい」が増えることを期待する。
- ・問題行動件数が減少していないのは気になる。しかし、大きな問題というより、些細なトラブルが頻繁に起こることなので、安心できる居場所づくりも進んできていると感じている。
- ・問題行動件数は、学校だけの取り組みでは難しい。保護者や地域も一緒になって取り組める方法を考えては。
- ・先生に相談すれば解決できるという信頼される関係を深めてほしい。いじめへの対応もしっかりと。

中期目標2における評価：C

【委員からの意見・提言】

- ・全国学力調査結果は厳しかったが、子どもは落ち着いて学習に取り組むようになってきている。
- ・教員も、教え方を良く工夫していると感じた。
- ・摂津市学力定着度調査は、成果が出ている部分もあったので、今後を期待したい。
- ・基礎学力定着だけに偏ることなく、活用力育成との両輪で子どもたちの学習意欲を高めていってほしい。
- ・「宿題をしている」の保護者の回答が94.6%だが、安心できない、保護者に現状を知ってもらう必要がある。
- ・保護者アンケートで「スマホ等のルールを決めている」と「よく読書している」がともに低く、連動していると思うので、保護者との連携が必要である。
- ・⑦～⑩の結果は素晴らしいのに、なぜ学力調査の結果が伴わないのだろうか。その原因や課題を分析し、そこを取り組んでいかないといけない。
- ・読書ができていないのが課題。子どもに読ませるだけでなく、教員がもっと読み聞かせをして、本に興味を持てるようにしてほしい。
- ・語彙量を増やすためにも、読書は大切ではないか。来年度はもっと力を入れてほしい。
- ・感想文コンクール受賞者に全校の前で読んでもらうなどの取り組みはできないか。
- ・読書については、保護者にも呼びかけをもっとしてほしい。

中期目標3における評価：A

【委員からの意見・提言】

- ・教職員アンケートの提出率は、100%にすべきである。

- ・教職員の気持ちが揃っていることは、児童・保護者からの信頼度アップにもつながっている。すべての面でプラスの効果があったと思う。
- ・問題解決には、教職員が一つになって、校長・教頭がしっかりと意見をまとめて頑張ることが大事。
- ・職員室の雰囲気が「明るく元気になり、前向きに挑戦する組織」になってきているのを感じる。今後も、校長のリーダーシップのもと、風通しがよく活気のある職員室であってほしい。
- ・教職員の入れ替わりが多い中、まとまっていることはすばらしい。今後も一致団結して頑張ってもらいたい。

中期目標4における評価：B

【委員からの意見・提言】

- ・フリー参観は、とても良かった。実態を見てもらうことが大事。保護者だけでなく地域の人にも、参観してもらいたい。
- ・毎年「規律が徹底できていない」「決まりが守れていない」と児童も教職員も感じているのに、成果が上がっていないのは残念である。
- ・規律の数値の増加、少しではあるが成果が出ていると感じた。また、教職員の児童に対する「まなざし」の変化でもあるように思う。今後も、保護者、地域と連携して暖かい「まなざし」で子どもたちを指導していただきたい。
- ・学校行事の時を利用して、もっと、学校がやろうとしていることを、保護者や地域に聞かせてほしい。
- ・地区懇談会やカーニバルなど保護者・地域と連携して子どもを育てる取り組みが大切にされていると思った。
- ・決まりやルールを守ることとても大切なことなので、しっかり教えてほしい。